

活動報告

2025. 7 . 31 (木)

<活動内容>

氷遊び

<準備品>



たらい、製氷皿で作った氷、あらかじめ玩具を水の中に入れて作った氷、おままごとで使っているお皿

<活動の流れ>

氷をたらいに氷を出し、触ったり、器に入れて振ってみたり、玩具を取り出すために、みんなで触って氷が解けていくのを観察する。

<子どもの様子>

製氷皿で作った氷は、まとめてくっつけると、まとめたものを持ってみようとする姿があったり、玩具がはいいているのに気づくが取れず、やきもきするが、触って解けていくのを見ると、やる気を出し、夢中になって触って氷を解かず姿が見られた。

<子どもの声>

氷を触るなり、「冷たい！」と喜ぶ姿が見られた。まとまった氷を見て「大きいね！」と話したり、玩具が取れず、頑張るものの取れず、触って解けるのを見て「取れそうだね」と話したり、「もう少し、もう少し」と夢中になっている姿も見られた。また、器に入れて振ると音が鳴り。「いい音だね」と保育士と話す様子があった。

<振り返り>

氷一つで、触って冷たい感触を確かめたり、おままごとにししたり、玩具を取るために氷を溶かしたりと様々な遊びに展開できたのはよかった。また、夢中になっている様子を見てやってみてよかったと感じた。次に行うときにはいろいろな形の氷を作ってみたり、いろいろな器で氷を作って「どんな形になるかな」と問いかけながら遊んでみてもよいかもしれない。